

九州南部・奄美地方 夏(6~8月)の気候統計値に関するお知らせ

平成29年9月1日
鹿児島地方气象台

6月：九州南部では、上旬の前半までは高気圧に覆われて晴れた日が多くなりましたが、その後は気圧の谷や前線の影響で曇りや雨の日が多くなり、下旬は前線が九州南部付近に停滞したため大雨となった日がありました。奄美地方では、上旬は高気圧に覆われて晴れた日が多くなりましたが、その後は前線や湿った空気の影響で曇りや雨の日が多くなりました。

7月：九州南部では、中旬の前半までは気圧の谷や湿った空気の影響で曇りや雨の日が多く、大雨や荒れた天気となった日がありました。その後は高気圧に覆われて晴れた日が多くなりましたが、強い日射や湿った空気の影響で大雨や雷雨となった日がありました。奄美地方では、上空の気圧の谷や湿った空気の影響で曇りや雨の日もありましたが、高気圧に覆われて晴れた日が多くなりました。

8月：上旬は高気圧に覆われて晴れた日もありましたが、台風第5号や湿った空気の影響で曇りや雨の日が多く、4日から6日は大雨や大荒れとなった所がありました。中旬以降は、気圧の谷や湿った空気の影響で曇りや雨の日もありましたが、高気圧に覆われて晴れた日が多くなりました。

平均気温：全ての地点で「高い」となり、宮崎、延岡、都城では「かなり高い」となりました。

降水量：種子島では「多い」となりましたが、その他は「平年並」か「少ない」となり、宮崎では「かなり少ない」となりました。

日照時間：全ての地点で「平年並」か「多い」となりました。

2017年夏(6~8月)の気候表

地点名	平均気温(平年差) 階級			降水量(平年比)階級			降水日数 1mm	日照時間(平年比) 階級			
	()	()	()	(mm)	(%)	(h)		(%)			
宮崎県	宮崎	26.7	(+0.9)	+	676.5	(66)	-*	29	594.4	(109)	+
	延岡	25.9	(+0.9)	+	540.5	(61)	-	28	559.0	(105)	
	都城	26.0	(+0.7)	+	1189.5	(103)		44	509.9	(107)	+
	油津	26.4	(+0.4)	+	830.0	(86)		31	567.8	(109)	+
鹿児島県	鹿児島	27.4	(+0.5)	+	844.5	(85)		35	568.4	(110)	+
	阿久根	25.9	(+0.5)	+	665.0	(72)	-	30	656.0	(115)	+
	枕崎	26.5	(+0.6)	+	848.5	(99)		33	591.4	(105)	
	屋久島	26.4	(+0.5)	+	1457.0	(108)		36	585.5	(109)	+
	種子島	26.7	(+0.3)	+	1171.0	(134)	+	31	636.4	(107)	+
	名瀬	28.1	(+0.4)	+	998.0	(113)		32	556.5	(109)	+
	沖永良部	28.1	(+0.6)	+	334.5	(58)	-	20	744.2	(107)	+

(注意)・「階級」の欄の符号は、+:高い(多い) :平年並 -:低い(少ない)ことを示す。また、階級が「高い(多い)」「低い(少ない)」となった地点のうち、1981~2010年の中で、高い(多い)方または低い(少ない)方から10%に入る極端な値である場合には、階級の「+・-」に*を付加した。この場合には +*:かなり高い(多い) -*:かなり低い(少ない)と表現できる。

・値の横に「)」や「]」がある場合には、月別値を求める際に使用したデータ(日別値)に欠測等が含まれていることを示す。)付きの値(準正常値)は通常のものと同様に扱うことができるが「]」付きの値(資料不足値)については、値の下に記載した統計日数(統計に用いた、品質が十分な日別値の数)を参考にして、品質を確かめてから使用されたい。

2017年夏(6~8月)の順位更新表(順位の更新はタイ記録も含んでいる。タイ記録は「=」で表す)

・3か月間の平均気温(高い方から)

順位	地点名	値()	平年値()	平年差()	これまでの1位() (西暦年)	統計開始年
3	延岡	25.9=	25.0	+0.9	26.1 (2013年)	1961年

(注意)・当資料に掲載されている天候の特徴や統計値は、現時点で得られている資料を取りまとめた速報です。